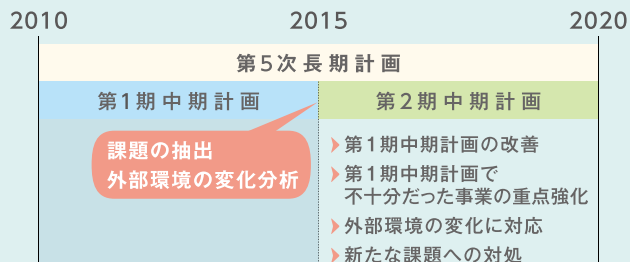


第5次長期計画推進の特長 推進方法・実施体制

推進方法

中長期計画方式とローリングプラン方式の導入により、
状況変化へ柔軟かつ迅速に対応。

第5次長期計画（10年間）は、第1期中期計画（前半5年間）と第2期中期計画（後半5年間）の2期に区分する中長期計画方式を採用しています。加えて外部環境の変化に迅速に対応できるよう定期的に計画の見直し・修正を行うローリングプラン方式を採用します。第1期中期計画終了時点での成果と課題、新たなニーズ、外部環境の変化に合わせて計画を修正し、第2期中期計画を編成します。



実施体制

大学執行部主導 プロジェクトマネジメント体制の確立と
PDCAサイクルの導入で着実に成果を創出

プロジェクトマネジメントの概念を取り入れることで、今後展開する各事業の実施責任の明確化、進捗管理の徹底、目的達成度の評価を経た問題の改善を実践します。これにより、第5次長期計画全体で着実な成果の創出が可能となります。

